

こっこめ通信 11 2006

「見に行かなくちゃ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

10月に入って秋の黄色い花が目立つようになってきました。ワダンから始まり、セイタカアワダチソウ、ヤクシソウ、ツワブキと咲き出しています。中でもセイタカアワダチソウは例年になくたくさんの花が咲いていますね。台風が来なかったせいでしょうか？

これからさらに、ハチジョウアキノキリンソウ、イソギクと咲き出し、島も段々と寒くなっていきます。さて今回は、「海が凄い事になっています」「2006・秋の鳥」についてのお話です。

海が凄い事になっています

秋の八丈島は、黒潮に乗ってやってきたいろいろな生き物が見られ、ダイバーにはとても人気があります。

そんな中、今年の八丈島の海は、凄い事になっています！！夏の終わりから黒潮の変動により、いつもの年にはあまり見られない大物達の姿を頻繁に見ることができます。

また、黒潮が南下した事により、黒潮の縁や内側にいる「ニタリ(写真:右)」や「アカシュモクザメ」を高い確率で見ることができます。ニタリはオナガ



Photo © kawano

ザメ科のサメで長い尾ビレが特徴、体長は3mほどです。アカシュモクザメは、目が突き出ているトンカチのような頭からハンマーヘッドと呼ばれ、この秋には数匹の群れでの遭遇もあるようです。これらのサメを求めて、遭遇率の高い早朝から潜るダイバーもいるほどです。

また、カンパチやツムブリなどの顔なじみの回遊性の魚に加え、2m近い大きさのイソマグロやキハダマグロなど大型の回遊性の魚の姿もよく見られます。

そして島の秋の見所でもある「ユウゼン玉(写真:左)」。今年の群れは、小さな群れでも50匹、100匹以上の大きな群れとの遭遇率も高くなっています。岩に付いた付着物を食べては、違う岩へと群れの移動する姿は圧巻です。おこぼれを期待して付きまとう「ヘラヤガラ」の姿には笑ってしまいますね。

今回見られるサメなどは、黒潮の流路が変わってしまうとすぐに移動してしまいます。必ず見られる訳ではないので注意してください。



Photo © takasu

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

2006・秋の鳥

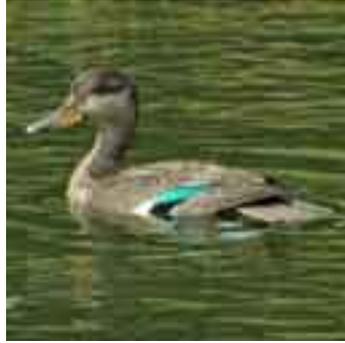
昨年のごっこめ通信 11月号も秋の鳥たちの特集で、カモの仲間をたくさん載せました。しかし、今年は、昨年に比べるとコガモは公園内・ホタル水路周辺・鴨川などいろいろな場所でたくさん見られましたが、他の種類はとても少ないようです。この秋記録されたカモの仲間はコガモ、オナガガモ、オシドリだけです。(オシドリは島では珍しく夏羽をしていました)

これから冬に向かって、アトリ科の冬鳥が渡ってきます。ぜひ探しに行ってみてはいかがでしょうか？



オナガガモ

植物公園の池に今年初めて降りたカモ。いずみ親水公園でも見られました。頭から上半身を水中に入れて水底の水草を一生懸命に食べていました。



コガモ

10月上旬、公園内の池に10羽のコガモが降り立ちました。その後、いずみ親水公園や鴨川などでも見られるようになってきました。



バン

植物公園の池に降り立った幼鳥、コガモに混ざって水底の水草などを食べていました。秋には幼鳥が渡ってきますが、衰弱しているものが多いです。



ツバメ

渡りの途中に島で休憩中。公園やいずみ親水公園などで水を飲む姿を目にします。写真は夕方鴨川沿いの電線上に止まって休んでいる所です。



アトリ

冬鳥として島に渡ってくるのか、渡りの途中に島に立ち寄っているのかははっきりしません。この写真は、公園内を散策中に偶然見られました。(二羽)



セイタカシギ

ここ数年、春や秋に毎年見られるようになってきています。毎年見られるのは1羽ですが、今年は珍しく、3羽もいずみ親水公園で確認されています。



ハクセキレイ

秋に島に渡ってきて、春になると北へ渡っていく冬鳥。尾を上下に振りながら歩く姿がとてもかわいいです。植物公園内でも見られます。



ビンズイ

冬鳥として島に渡ってくるのか、渡りの途中に島に立ち寄っているのかははっきりしません。ビンズイよりもタヒバリの方が多く観察されています。



キセキレイ

秋に島に渡ってきて、春になると北へ渡っていく冬鳥ですが、春に巣作りをしている個体や夏にも見られるので島内で繁殖している可能性もあります。



チュウサギ

春や秋に見られる旅鳥。春には島でゆっくりと休んでいきますが、秋は早くに旅立ってしまいます。このチュウサギも数日間は公園の池で見られました。



タカブシギ

ここ数年、いずみ親水公園や鴨川などで、春や秋に毎年見られます。他にもキョウジョシギやイソシギなどのシギも見られました。



チュウシャクシギ

春や秋に島に立ち寄る旅鳥。今年は、10月1日に鴨川河口付近にて、2羽観察できました。その後の、島内での観察はされていません。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10月8日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成18年第10回) 参加者・菊池昭、新堀、永井、vc 菊池

NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態
草本			42	キンゴジカ	花と実
1	アシタバ	実	43	ヤハズソウ	花と実
2	チヂミザサ	花と実	44	セイタカアワダチソウ	咲き始め
3	エダウチチヂミザサ	花と実	45	アメリカセンダングサ	花
4	アオノクマタケラン	実	46	ヤクシソウ	咲き始め
5	ツユクサ	花と実	47	ミズヒキ	花
6	オニドコロ	実	48	メナモミ	花と実
7	ヒメヨツバムグラ	実	49	ハキダメギク	花
8	ヒメクグ	実	50	オヒシバ	実
9	ヘクソカズラ	若い実	51	イヌビエ	実
10	ハチジョウアザミ	花、盛り	52	トウバナ	花と実
11	アキノノゲシ	花、咲き始め	53	イヌガラシ	実
12	ススキ	花、盛り	54	ハシカグサ	実
13	ヒナギキョウ	花と実	55	アキメヒシバ	実
14	イガガヤツリ	実	56	ヌカキビ	実
15	ウスベニニガナ	花	57	イヌクグ	実
16	オニタビラコ	花	58	ヌスビトハギ	花と実
17	メヒシバ	実	59	カヤツリグサ	実
18	ハイメドハギ	花と実	60	ザクロソウ	実
19	ウリクサ	花と実	61	シロノセンダングサ	花と実
20	コニシキソウ	実	62	クズ	実
21	コミカンソウ	花と実	63	アオツツラフジ	熟した実
22	イワニガナ	花	64	コツブキンエノコロ	実
23	タチスズメノヒエ	実	65	ナキリスゲ	実
24	メリケンカルカヤ	実	66	テンツキ	実
25	ヒメムカシヨモギ	花と実	木本		
26	イヌタデ	花と実	1	ヒメズリハ	実、熟したのもの
27	ベニバナボロギク	花	2	ホルトノキ	実
28	ハチジョウシュスラン	花	3	ガクアジサイ	実
29	キンエノコロ	実	4	モチノキ	赤い実が目立つ
30	クグガヤツリ	実	5	トベラ	実、割れ始め
31	ヒメジソ	花と実	6	ヒサカキ	若い実
32	オオバコ	花と実	7	イヌビワ	実
33	イノコヅチ	実	8	シマクサギ	熟した実
34	シマスズメノヒエ	実	9	シチトウエビヅル	熟した実
35	ママコノシリヌグイ	花	10	ハゼノキ	実が落ち始め
36	イヌホオズキ	花と実	11	モッコク	熟した実
37	カタバミ	花と実	12	スダジイ	殻斗が割れ始め
38	カラムシ	実	13	ヤブツバキ	実が割れ始め
39	ヌメリグサ	実	14	オオバヤシャブシ	実
40	チチコグサ	実	今回は80種の植物を観察しました。		
41	ネズミノオ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海の生きもの「テングダイ」にスポットを当ててみたいと思います。



テングダイ

Evistias acutirostris

本州中部から九州・小笠原に分布する、カワビシヤ科の魚。

体長60cm、体は黄色と黒の横縞模様、水深20～250mの岩礁などで見られます。下顎(したあご)に短いひげが、たくさん生えているのが特徴。

島では水深20m前後から見られ、場所によっては十数匹の群れで見られます。過去に幼魚が観察された事もあります。

2006 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 00:26 07:17 14:24 20:28	2 02:04 08:21 14:53 21:04	3 ガイドウォーク 03:10 09:12 15:21 21:39	4 ガイドウォーク 04:07 09:56 15:48 22:15
5 ガイドウォーク 04:58 10:36 16:15 22:52	6 05:48 11:13 16:43 23:30	立冬 7 06:37 11:47 17:11	8 07:25 00:09 17:41 12:20	9 08:13 00:49 18:11 12:53	10 09:04 01:30 18:41 13:28	11 ガイドウォーク 10:01 02:15 19:14 14:14
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 11:11 03:05 19:55 15:42	 13 12:23 04:07 21:53 18:41	14 05:23 13:14 19:55	15 00:41 06:43 13:49 20:28	16 02:10 07:49 14:18 20:56	17 03:07 08:40 14:45 21:23	18 ガイドウォーク 03:53 09:23 15:10 21:50
19 ガイドウォーク 東京都文化財ウィーク 「三根歴史探訪」 04:33 10:00 15:36 22:18	20 05:11 10:34 16:01 22:48	● 21 05:48 11:06 16:28 23:19	小雪 22 06:25 11:37 16:55 23:52	23 ガイドウォーク 07:04 12:09 17:24	24 07:46 00:28 17:56 12:43	25 ガイドウォーク 八文学講座 「地熱温室見学会」 08:33 01:08 18:32 13:24
26 ガイドウォーク 09:26 01:53 19:16 14:18	27 10:25 02:45 20:18 15:37	 28 11:26 03:47 22:00 17:18	29 12:21 05:00 18:45	30 00:12 06:19 13:07 19:44		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/12 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

東京都文化財ウィーク特別行事 「三根歴史探訪」

東京都文化財ウィークに合わせた行事です。講師は、八丈島の郷土文化に詳しい伊藤 宏さんです。
11/19 (9:30～ 約6時間) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費:500円(保険・交通費) 定員:20名

八文学講座 「地熱温室見学会」

毎月行っている八文学講座。今月は、中之郷の地熱温室を管理してる方に案内していただきます。
11/25 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

ビデオプログラム

- 10:00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00～ 八丈・海・生きものたち
- 上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2006.11.1 第66号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com
(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

今年の海は、いろいろな生き物がたくさん見られ楽しいようです。サメを見ることができるという情報を聞いてから何度か潜りましたがまだ見ていません。見られるうちに早く見ないと・・・。(高)